1977 年 12 月 3 日第三種郵便物認可（毎月 1・2・3・5・6・7 の日発行）2024 年 1 月 13 日発行 SSKP 通巻 8313 号

SSKP
はれのちくもり
2024 年 1 月
第 145 号 別冊ピアス通信 第 62 号

この通信では、ピアス（就労移行支援事業・自立訓練（生活訓練）事業・就労定着支援事業）のトレーニングやイベントを中心に、「働く」ことに関する情報を発信していきます。

ピアス取り組みを多くの人に知ってもらいたい

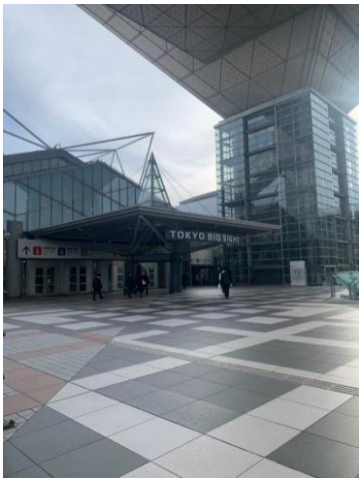
～2023 年 11 月 9 日（木）第 31 回 職業リハビリテーション研究・実践発表会に参加をしてきました～

ピアスでは今年度の取り組みの一つに『ピアスが行っている就労支援を多くの人に知ってもらいたい』という思いがあります。その機会として、独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構が毎年秋に行っている実践発表会に参加をすることを決め、春から準備をしてきました。機を同じくして、自立訓練（生活訓練）事業が構想から 10 年を迎えていて、自分達の取り組みを振り返りたい、と思っていたところでもありました。タイミングや今ここに。この 10 年間、ピアスがメンバーとともに試行錯誤しながら取り組んできた『自立訓練（生活訓練）と就労移行支援の一体的事業運営』を振り返って、実践報告をすることにしました。

さて、そうは決めたものの、忙しく日常を送りつつ、11 月の本番に向け幾度となく資料作成の締め切りが訪れ、四苦八苦していました。まず 10 年間分の年度末報告（総括）を紐解き、今までの自立訓練（生訓）利用者の入所日、退所日、帰結等の集計をし、行ってきたプログラムや作業の動向をまとめつつ、スタッフから意見をもらって準備を進めました。昔から、夏休みの宿題は 8 月 31 日に全力投球の私にとって、今回ほど学びがないのを悔しいと思ったことはありません・・・。ギリギリのギリギリ、本番前日にようやく最終資料が出来上がり、スタッフの前でリハーサルをして、何とか当日を迎えることが出来ました。

緊張の面持ちで足を向けた東京ビッグサイトは広く、人が多かったこと！渡された資料のなかにピアスと自分の名前を見つけると、より緊張が高まりました。でもここでジタバタしてもしょうがありません。会場に発表を聴きに来てくれた 3 人のピアススタッフの応援と前日のリハーサルで皆からもらったアドバイスを胸に、午前の部トップバッターで無事に発表を終えることが出来ました。会場からいくつか質問をいただけたのが嬉しく、ホッとしました。その後は終日、他参加事業所の就労支援の取り組みについて触れ、考える時間を過ごしました。企業、支援機関、学校、障害の種別、地域性、アセスメント、短時間雇用、テレワーク・・・などなど主体や手法が多くあり、見聞を広められたことはとても勉強になりました。

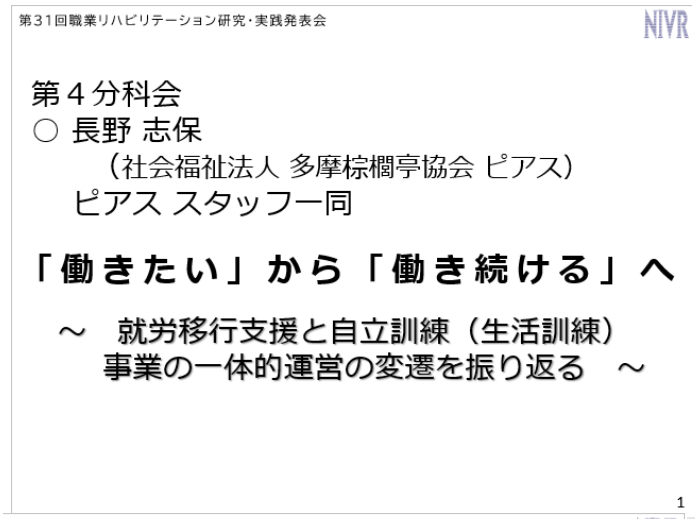
今、発表を終えて思うのは、当日の出来不出来より、その日を迎えるまでの過程が自分にとっては貴重だった、ということです。この 10 年間のピアスの試行錯誤で、自分達が何を大事にしながら当時実践してきたのか、を振り返りました。すべてが上手くいったことばかりではありませんが、昔も 10 年前も、そして今も、―ピアスはそのとき最善のことを考えていく姿勢は変わらず、取り組んできました。

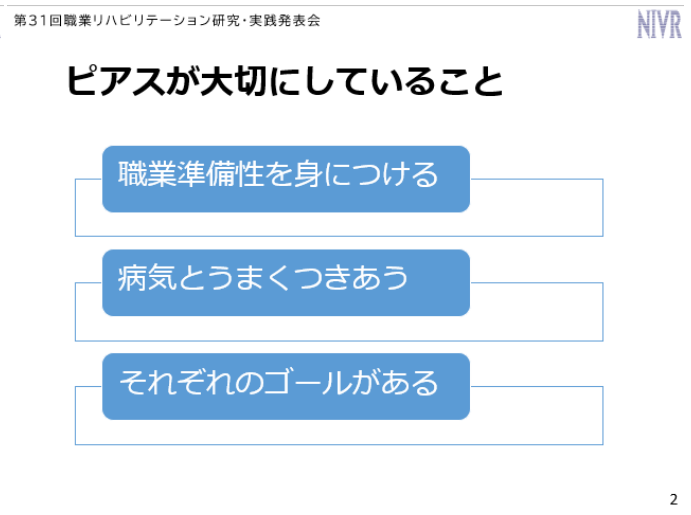


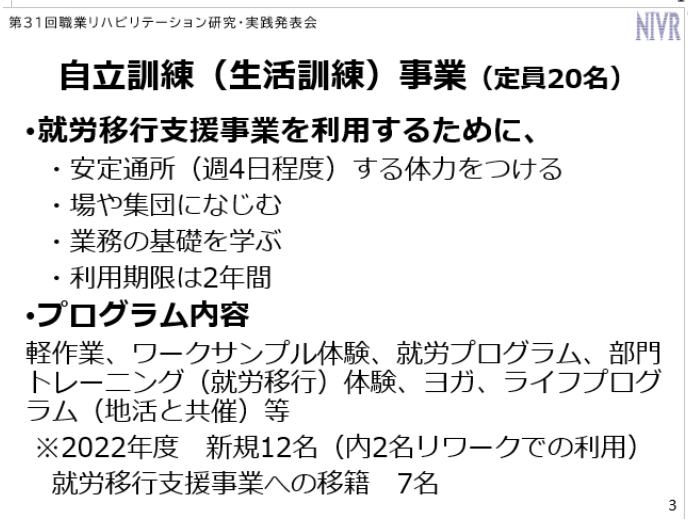
また自立訓練（生活訓練）事業は、使ってくれたピアスメンバーが実績を積み上げ、育ててくれた事業だな、とも改めて思いました。いろいろな方のいろいろな表情が浮かびます。「自立訓練があってよかった。ここで自信がついて、就労移行でも頑張れた」の声に、私達も励まされてきました。これからもピアスの『自立訓練（生活訓練）と就労移行支援の一体的事業運営』を多くの人に知ってもらい、出会い、活用してもらえるよう、実践していきたいです。（長野）

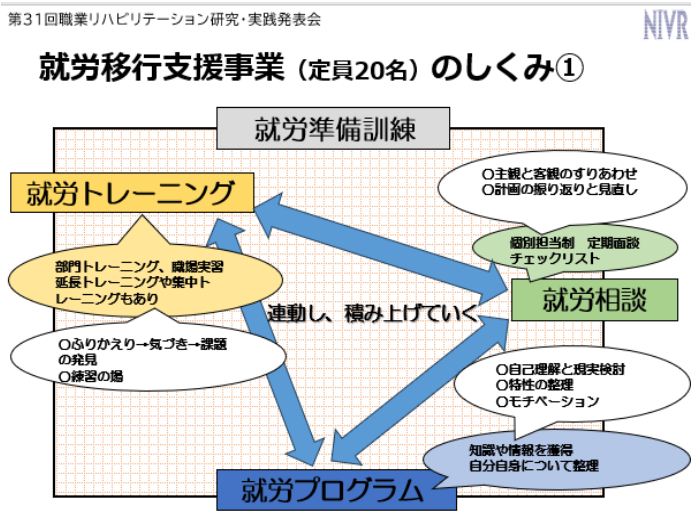
【発表内容の抜粋】

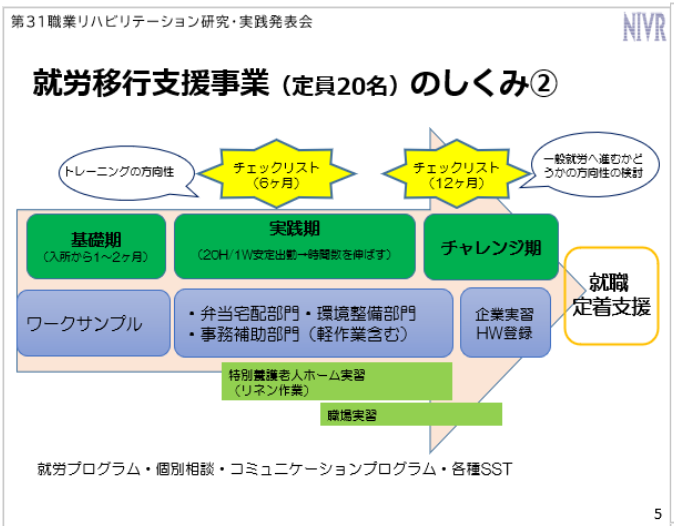
当日の発表資料の一部を抜粋してご紹介します。興味ある方は、ぜひお声掛けください。

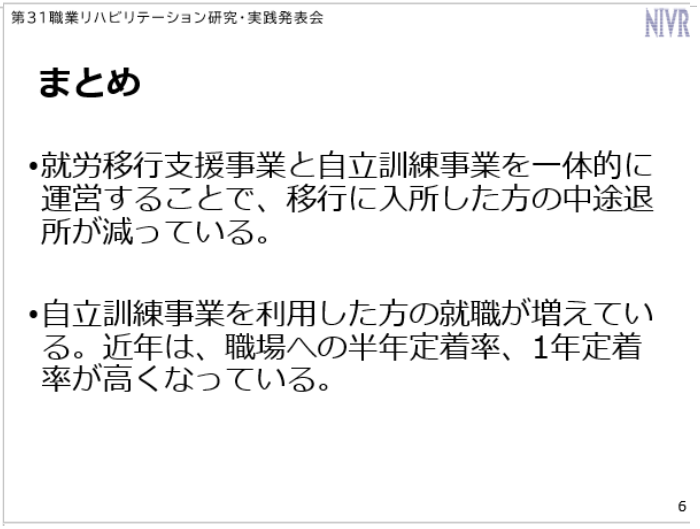












1977 年 12 月 3 日第三種郵便物認可（毎月 1・2・3・5・6・7 の日発行）2024 年 1 月 13 日発行 SSKP 通巻 8313 号

OB インタビューリレー

OB インタビュー　就労プログラム「OB の話」山下慧さん＆大橋孝子さん

2023 年 11 月 24 日の就労プログラム「OB の話」からの抜粋、そして終了後のアフターインタビューの様子をお届けします

山下さんのお話から

- ✧ 咲庭という造園業者に就職して 3 年になります。週 3 日、一日実働 7 時間、主に公園での剪定で出た枝葉を片付けています。
- ✧ 仕事を理解することに苦労し、精神的にも体力的にもきつく、上司との人間関係も上手くいっていないと感じていましたが、そこから徐々に関係が築けるようになってきました。わかる仕事や任される機会も増え、上司から評価されることもあって、仕事もつらいことばかりじゃないと感じます。
- ✧ 人間関係を作るためには、話すだけでなく、一緒に何かをすることでその人となりを知ることを大切にしています。また支援者が会社との間を取り持っていたが、橋になってくれる人がいないと向こう岸まで行けないので、そういう人が大事だと思います。
- ✧ ピアス入所時と今を比べると、最初は自分を理解することにベクトルが向いていたけれど、今は外、人間関係を良くすることに向いています。

大橋さんの話から

- ✦ 事務職でフルタイム、週 5 日働いていて 4 年ちょっと経ちます。
- ✦ ピアスでは作業ペースが速い方だったので、周りと合わせたり人に頼ることに苦労していました。自分のことを理解してもらおうとあまり思っていなかったのですが、徐々に自分のことを伝えるようにしていきました。困りごとも解決したら言わなかったですが、自分の中で終わらせないようにしたり、自分の中のファイルがパンパンになる前に言うようにしています。
- ✦ 今の仕事で上司が何度か変わり、最初に伝えた配慮事項が引き継がれていなく、苦労しました。一番困っていることだけ重くならずに伝えるようにしています。

- ● お二人への質問　Q. 仕事を長く続けるコツは？
  （山）100 回以上辞めたいと思っていますが、最近少しずつ評価されたことは大きいです。あと辞めたいと思うことも一日で忘れられるので、特にどうしようもならない人間関係は諦めながらやっています。
  （大）私はあの就活をもう一回やりたくない…！と思っています。比較的人間関係も良いこともありますね。

アフターインタビュー

—お二人ともお疲れ様でした！いかがでしたか？

（山）実は今週熱を出してしまってどうなることかと思ったけど…。自分の話に需要があるのかなと思ってますが、みんなちゃんと聞いてメモも取ってくれて、前向きでびっくりしました。みなさんシャイだけど真面目ですね。

（大）自分は山下さんみたいに原稿の用意せず会話形式にしたけど、みんな質問してくれてよかった。

（山）答えきれなかった質問もあるけど、「就活で気を付けることは？」とか個人個人で煮詰めていくものだよね

（大）そう、これがいいとは言い切れない。会わない上司との折り合い方もいろんなやり方があるし。

（山）だから今日の二人のタイプが違ってよかったな。しかしお互いタフな仕事をこなしていることは共通していると思う。

—お二人はピアス時代も一緒に過ごしていますね。

（山）厨房では自分が一つ終わらせている間に大橋さんは 4 個もこなしていて、たくさん迷惑もかけたけど救われた部分が大きい。

（大）うんうん（笑）今日は知っている同士だからやりやすかった。

（山）自分は就活の時コロナ禍になって求人が少なくて大変だったから、その時のメンバーとは苦楽を共にした感がある。それまでの横のつながりがあったから乗り切れたところもあります。

…と、その後もピアス時代の思い出話やあるある話で盛り上がり、苦楽を共にしたメンバー同士の絆の強さを改めて感じる時間にもなりました。

お二人はピアスに来る前やピアスのこともたくさんお話してくださいましたが、紙面上割愛せざるを得ず、とても残念です。働くお二人の姿を見て、現役メンバーもスタッフもたくさんの力をもらいました。この度はお忙しいなかありがとうございました！（尾崎）

1977 年 12 月 3 日第三種郵便物認可（毎月 1・2・3・5・6・7 の日発行）2024 年 1 月 13 日発行 SSKP 通巻 8313 号

◆　ピアス定着支援事業をご利用のみなさま・OB のみなさまへ　◆

●今後の予定●

OB 会　　・・・毎月第２土曜日に開催しています。時間はその月によって変更があります。

・１月 13 日（土）　13：00　～　14：00 ごろ　　ピアス集合　谷保駅解散

＊恒例の、谷保天満宮で初詣を予定しています。梅園の売店でお菓子などつまみつつの初顔合わせです。

＊お茶やお菓子を買ってその場でいただきます。各自、費用（500 円前後）をご用意ください。

＊参加ご希望の方は、電話やメールでご連絡ください。

・２月 10 日（土）　時間未定　　ピアスにて

＊内容と時間は１月の OB 会で決定します。詳細はメール「OB だより」にてお伝えします。

フォローアップ CES　　・・・毎月第３土曜日に開催しています。

・１月 20 日（土）　10：00　～　ピアスにて

＊変更になる場合があります。その際は別途お知らせします。

●その他のお知らせ●

OB の方向けに、毎月 1～2回、メールにて「OB だより」を配信しています。

＊アドレス変更など何かありましたらご連絡ください。

～編集後記～

みなさま、あけましておめでとうございます！2024 年度最初のピアス通信になります。今回のピアス通信は棕櫚亭の理念でもある発信をテーマに掲載させていただきました。

コロナ禍ということもありましたが、日々の忙しさから外部へ発信する機会がもてておらず、何年かぶりの事業報告になりました。その準備の過程で自分たちの取り組みを振り返ることができ、こうした機会をつくることで、自分たちが何を大切にしているのかという原点に立ち戻るきっかけにもつながりました。

就労プログラムではピアス OB から現役メンバーにむけての発信になりました。メンバーからメンバーへバトンを渡していくというのも、また棕櫚亭がずっと大切にしていることです。メンバーからもらう言葉は日々「これでよかったのか」と悩んでいる職員も励まされます。こうした発信の機会を積極的に今後もつくっていきたいです。今年もよろしくお願い致します。（本田）

ホームページで最新情報をお届けしています。

➤***www.shuro.jp***

または『棕櫚亭』で検索！

社会福祉法人
多摩棕櫚亭協会

【編集】国立市富士見台 1-17-4
社会福祉法人　多摩棕櫚亭協会
就労移行支援事業所ピアス内
はれのちくもり編集委員会
Tel 042-575-5911
【発行】特定非営利活動法人
障害者団体定期刊行物協会
〒157-0072 世田谷区祖師谷 3-1-17-102
Tel 03-6277-9611
【定価】100 円